



第25回常任理事会

日時 平成24年3月13日(火) 18:00~19:11
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・目黒・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村両監事
 (事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 第137回北海道医師会定時代議員会の処理事項に関する件(深澤常任理事)

3月11日開催の定時代議員会で採択された決議文を日医会長、都道府県医師会長、郡市医師会長、国会・道議会議員、市町村議会議員、政党、関係省庁、マスコミ等へ送付することと決定(合計691件)。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座31件、道医認定生涯教育講座26件、合計57件を承認することと決定。

報告事項

1. 日医女性医師支援事業連絡協議会[2月17日(金)]について(藤井常任理事)

「女子医学生、研修医等をサポートするための会」をテーマに、9医師会から事例発表があり、その後活発な意見交換が行われた。

2. 北海道自動車保険医療連絡協議会[2月29日(水)]について(深澤常任理事)

自賠責保険医療の円滑な運営を図ることを目的に、今年度も損保側委員と本協議会を行った。例年同様、医療機関と損保との間のトラブル事例(健保使用に係る事例、支払遅延、新基準の確認事項違反等)について、当会側から報告し、損保側には是正、改善を求めた。また、今回は「人身事故証明書入手不可能理由書の悪用」について意見交換を行った。

3. 北海道病院団体懇談会[2月29日(水)]について(北野常任理事)

北海道公立病院連盟等10病院団体25名に出席いただき懇談会を開催した。今年度は、全国自治体病院

協議会北海道支部・小熊支部長より「全自病協 大規模災害対応マニュアルの作成について」、北海道民主医療機関連合会・堺副会長より「日常の現場から求められる社会保障のあり方について」、日本病院会北海道ブロック・中村支部長より「チーム医療についてー特定看護師の件ー」についてそれぞれ話題提供があり、意見交換を行った。

4. 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会[3月1日(木)]について(渡邊常任理事)

三上常任理事より生涯教育制度関連事項報告、生涯教育推進委員会・橋本委員長より生涯教育推進委員会報告がそれぞれあり、秋田大学総合地域医療推進学講座・長谷川仁志教授から講演が行われた。講演内容は、「日本の国情・2次医療圏の実情からみた地域医療再生のための大学と地域医療機関による1年生からの卒前・卒後シームレスな医師育成体制機構ーすべての医師に総合力をー」というテーマであった。

5. 郡市医師会介護保険担当理事連絡協議会[3月3日(土)]について(前川常任理事)

小職から日医介護保険委員会の報告を行い、引き続き、特別講演を行った。講師は、日医介護保険委員であり東京都医師会理事の平川博之先生。テーマは「認知症の非薬物療法ーリハビリテーションを中心にー」と題して、リハビリを通して脳の活性化を図るという大変興味深い内容であった。

6. 東日本大震災医療救護活動報告会[3月4日(日)]について(目黒常任理事)

東日本大震災での医療救護活動を通じて見いだされた課題、問題点等を今後の災害対応に生かすため、標記報告会を開催した。はじめに、岩手県医師会・石川会長を講師に迎え「東日本大震災と医師会の役割」をテーマに講演いただいた。その後「東日本大震災の医療救護活動を通じて」をテーマに、DMAT活動のほかJMATとして被災地での活動を行ったチームの中から4名の方々に報告いただき、ディスカッションを行った。参加者は101名であった。

7. 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会[3月5日(月)]について(橋本常任理事)

平成24年度診療報酬改定内容について、日医・鈴木常任理事から説明を受けた。その後、安達中医協委員(京都府医師会副会長)から、今回の中医協での改定経過(重点配分の項目等)の報告がなされるとともに、再診料の在り方については24年度早々に議論・検証が開始される旨の説明があった。最後に中川副会長より、プラス改定とはなかったが、再診料の引き上げが実現しなかったことは遺憾であり、今後とも再診料の引き上げを求めていく旨の力強い報告がなされた。

8. 都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会[3月7日(水)]について(前川常任理事)

三上常任理事から今回の介護報酬改定の経緯につ

き、社会保障・税一体改革の概要に基づき説明が行われた。その後、厚労省老健局老人保健課・宇都宮課長から、介護保険制度を取り巻く状況、平成24年度介護報酬改定の概要、各サービスごとの改定概要と今後の課題について詳細な説明が行われた。参加者は全国から200余名が参集した。

9. JMATに関する災害医療研修会 [3月10日(土)・日医] について (目黒常任理事)

JMATによる医療支援活動を行うために必要な知識と技術を身につけるための研修会が、都道府県医師会災害医療担当理事連絡協議会を兼ねて開催された。石井常任理事より「JMAT総論」、日医救急災害医療対策委員会・小林國男委員長からは「DMATとJMATの役割分担」、このほか「人道支援と倫理」「災害時における公衆衛生活動の国際標準」「災害における初期迅速調査」「緊急被ばく医療」「大規模災害・事故時の検視」「特殊災害と国民保護法」「パンデミック対応」について各専門家より説明がなされた。参加者は約180名であった。

10. 石狩・後志地区TPP情勢報告会 [3月10日(土)] について (直江常任理事)

石狩地区・後志地区農業協同組合の主催により開催され、4名の道内選出国議員より情勢報告が行われた。その後、3団体から意見表明があり、小職より医療にもたらす影響を解説し、国民皆保険制度に悪影響を及ぼすTPPへの参加は反対であると意見を表明した。

11. 外部各委員会報告

(1) がんプロフェッショナル養成プラン・評価委員会 [3月7日(水)] について (畑副会長)

道内4大学(札幌医大・北大・旭川医大・道医療大)が共同運営している同養成プラン(専門医師・コメディカルの養成をはじめとしたさまざまなプラン)の23年度実績報告を受け、「事業計画どおりに進んでいる」との評価を下した。なお、本事業は23年度をもって終了する予定であったが、28年度までの事業継続が決定した旨、報告があった。

12. その他

(1) 職員の人事異動について (深澤常任理事)

2月4日開催の第6回理事会で当会役員会務分担と事務局の職制の一部改正につき承認決定を受け、かつ3月末で複数の職員が退職することにより、4月1日付で4人の職員を新規採用するとともに、課長補佐以下の一般職につき人事異動を実施すると報告した。

第26回常任理事会

日時 平成24年3月27日(火) 18:00~19:18
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、北野・渡邊・三戸・小山・藤井・深澤・直江・橋本・前川・水谷・山科・岡部・伊藤各常任理事、水元・中村・大口各監事
(事務局：島影事務局長ほか12名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師研修機関の指定に関する件 (深澤常任理事)

研修機関としての条件を満たした1医療機関を母体保護法指定医師研修機関と決定、道内での指定医療機関合計は44機関となる。

第2号 役員会務分担の一部変更に関する件

(深澤常任理事)

小山常任理事の退任に伴い、新任の生駒常任理事を産業保健部部长、総務部副部长、学術部部員とすることを決定。また、役員所属割当を調整し、地域保健部員の藤井常任理事を副部长に、副部长の三戸常任理事を部員に、医療保険部員の三戸常任理事を副部长に、副部长の北野常任理事を部員とし、総務部員に藤井常任理事を追加することと決定。これに伴い、理事会設置の2つの小委員会の委員も一部変更することを併せて決定。

第3号 外部各委員会委員の一部変更に関する件

(深澤常任理事)

小山常任理事が当会役員として委嘱を受けていた北海道障害者介護給付費等不服審査会委員を、新任の生駒常任理事に変更することと決定。残りの任期は平成24年4月1日から平成25年5月16日まで。

第4号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡邊常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座28件、道医認定生涯教育講座17件、合計45件を承認することと決定。

第5号 その他

・4月行事予定表に関する件 (事務局)

報告事項

1. 北海道厚生局・北海道健康安全局 長寿・医療グループとの打合せ [3月14日(水)] について

(橋本常任理事)

当会と北海道厚生局ならびに北海道保健福祉部健康安全局 長寿・医療グループとの間で、平成24年度の指導計画について打合せを行った。北海道厚生局担当者から指導形態・指導方法等について説明を受け、平成24年度の指導計画について了承した。

23年度との変更点は「一般個別指導」においては基幹型臨床研修病院が実施対象に追加され、同指導では指摘事項の処理(返還)に関し、著しく適正を欠くものについては対象レセプトのみを返還対象と

することになった。また、集団的個別指導において、診療所・病院管理者とも、講義時間を90分で統一することになった。

2. 第10回指導医のための教育ワークショップ〔3月17日(土)・18日(日)〕について(渡邊常任理事)

本年度もKKRホテル札幌において、2日間にわたりワークショップ研修会を開催した。講義内容は、臨床指導法の学習、医学教育の変遷など9セッションのプログラムで、講習時間は16時間15分。32名の受講者があった。

3. 社会保険指導委員連絡協議会〔3月18日(日)〕について(橋本常任理事)

本年4月からの診療報酬改定に伴い、去る3月18日(日)に本協議会を開催した。北海道厚生局の古家統括指導医療官より「主な改定内容」について、同局の豊田管理課長補佐より「施設基準の改正点」「施設基準の届出に当たっての留意事項」について、それぞれ説明がなされ、その後、質疑応答を行った。

4. 第18回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会〔3月20日(火・祝)〕について(畑副会長)

日医認定健康スポーツ医の資格更新にかかわる研修会(2単位)を開催。コンサドーレ札幌の管理栄養士で(株)ウエルネスプランニング札幌代表取締役の小松信隆氏より「北海道におけるスポーツ栄養サポートの現状～トップアスリートからジュニア育成まで～」、医療法人札幌平岡病院副院長の浜島泉氏より「健康スポーツ医学の運用の経験」、以上2題の講演により研修を行った。参加者は52名であった。

5. 糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム〔3月24日(土)〕について(岡部常任理事)

北海道歯科医師会が主催、当会が共催、北海道糖尿病対策推進会議・日本糖尿病学会道支部・日本歯周病学会が後援する一般の医師・歯科医師等を対象とした初めての企画。日本糖尿病学会北海道支部としてNTT東日本札幌病院糖尿病内分泌内科部長の吉岡成人氏より「糖尿病と糖尿病の慢性合併症についてー糖尿病専門医の立場からー」、日本歯周病学会として北海道医療大学歯学部歯周歯内治療学分野准教授の長澤敏行氏より「歯周疾患の概要と糖尿病と歯周病の関わりー歯周病専門医の立場からー」、ならびに北海道大学病院口腔総合治療部講師の根岸淳氏より「糖尿病患者の歯周病ー糖尿病教育入院患者における分析ー」、以上3名のシンポジストより発表があり、活発な意見交換が行われた。参加者は161名であった。

6. 日医理事会報告(長瀬会長)

3月21日開催の第12回理事会に関し、報告事項では日本医学会役員選挙で自治医科大学長の高久史磨氏が会長に選出されたこと、日本医学会が日本脊椎脊髄病学会と日本緩和医療学会の2学会の新規加盟を決定したこと、平成27年に京都開催の第29回日本医学会総会副会頭に森洋一京都府医師会会長を含む5

氏が決定されたこと等の報告があった。その他仔細は既報の日医理事会速報を参照願いたい。なお、事前の打合せ会ではTPP問題、死因究明推進法案と医療関連死の取り扱い、終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律案(仮称)や衛星携帯電話機種変更に対する補助等について意見を交換した。

7. 外部各委員会報告

(1) 北海道介護支援専門員協会平成23年度第5回理事会〔3月18日(日)〕について(前川常任理事)

入会金無料キャンペーン、会員用メーリングリストについての事務局報告の後、6月30日(土)に開催される研修会、総会の講演内容などを含め、平成24年度活動指針について協議された。ケアマネジャーは身分的に不安定であり、国家資格を得るための活動が必要である。

(2) 北海道小児救急医療体制整備推進協議会〔3月22日(木)〕について(三戸常任理事)

小児医療に係る地域医療再生計画事業について説明があり、その後、大学病院、救命救急センター、小児救急医療支援事業参加病院等、計54病院を対象に実施された平成22年度の小児患者の入院状況および他の医療機関からの紹介患者の受け入れ状況調査結果の報告があった。このほか、小児三次救急医療体制の整備、小児救急地域医師研修事業、小児救急電話相談事業・相談員研修会の実施状況等についてそれぞれ説明が行われた。

(3) 北海道地域リハビリテーション協議会〔3月26日(月)〕について(橋本常任理事)

北海道リハビリテーション支援センターならびに全国広域支援センターの活動状況に関する報告と、地域リハビリテーション広域支援センターに係る実態調査結果につき報告があり、その後、北海道地域リハビリテーション支援体制推進事業実施要綱の改正について協議した。

8. 各部報告

(1) 地域保健部(岡部常任理事)

① 平成24年度特定健診集合契約について

平成24年3月12日現在、特定健診集合契約の参加健診機関数は1,583件、その内、道医への電子化代行依頼件数は537件である。

② 新たな禁煙推進団体の設置に関する打合せについて

道内においてもさまざまな団体が禁煙活動を行っている。その多くが会員数や事業内容など今のままでは活動が停滞してしまうことが予想される中、厚生労働省・北海道のがん対策推進の動きが活発化している現在、行政と歩調を合わせた形で新たな禁煙推進団体の設立を目指して検討すべく打合せを2回開催した。

道総医協関連事項

1. 地域医療専門委員会周産期医療検討委員会[3月19日(月)]について(藤井常任理事)

委員長に北海道大学大学院医学研究科教授の水上尚典委員、副委員長に市立札幌病院新生児内科部長の服部司委員を選出後、道内の周産期医療の現状、地域医療再生計画を活用した周産期医療体制の整備について報告があった。また、現在、地域周産期母子医療センターの未整備圏域である日高圏および根

室圏については、地域医療再生計画の全道事業を活用し、その解消を図る予定としている旨説明がなされ、意見交換が行われた。

2. 地域医療専門委員会第3回医療施設整備等検討委員会[3月22日(木)]について(渡邊常任理事)

平成24年度医療提供体制施設整備交付金事業計画について協議がなされ、新規事業案件の2件が了承された。

道医の動き

- 3月11日 第137回定時代議員会、平成24年定時総会、第126回日医臨時代議員会打合せ会
- 3月12日 三役会
- 3月13日 第25回常任理事会、広報委員会
- 3月14日 北海道厚生局・道健康安全局長寿・医療グループとの打合せ
- 3月16日 指導医のための教育ワークショップ講師事前打合せ
- 3月17日 指導医のための教育ワークショップ(～18日)、第37回東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会担当理事打合せ会(福島市、北野常任理事)
- 3月18日 社会保険医療指導委員連絡協議会
- 3月20日 日医認定健康スポーツ医制度再研修会、日医会長候補立候補者立会演説会(長瀬会長、宮本副会長)
- 3月21日 日医理事会(長瀬会長)

- 3月22日 診療報酬点数表改正に伴う説明会(～28日、道内11地区)
- 3月23日 禁煙対策に関する打合せ会、日医選挙管理委員会(塩野議長)
- 3月24日 日医代議員会議事運営委員会(宮本副会長)
- 3月25日 北海道プライマリ・ケア研究会幹事会・総会・学術集会
- 3月26日 三役会
- 3月27日 第26回常任理事会
- 3月28日 医事紛争処理委員会、小児救急地域医師研修事業に関する打合せ会
- 3月31日 日医代議員打合せ会(長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、深澤・三戸・直江各常任理事、山光・伊藤・津田・沖・倉増・山下・古屋・堀各理事、塩野議長)
- 4月1日 第126回日医定例代議員会(～2日、長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、深澤・三戸・直江各常任理事、山光・伊藤・津田・沖・倉増・山下・古屋・堀各理事、塩野議長)
- 4月4日 緊急臨時的医師派遣事業運営委員会
- 4月9日 三役会
- 4月10日 第1回常任理事会、広報委員会、地域福祉部担当理事会